

III. 研究成果の刊行に関する一覧表
書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
大野重昭	ベーチェット病の疾患概念	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P8-11
石ヶ坪良明、竹内正樹、水木信久	ベーチェット病の病因・病態	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P12-19
中村晃一郎	ベーチェット病の臨床 口腔内アフタ性潰瘍	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P20
中村晃一郎	ベーチェット病の臨床 皮膚症状	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P21
南場研一	ベーチェット病の臨床 眼症状	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P23
中村晃一郎	ベーチェット病の臨床 外陰部潰瘍	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P25
齋藤和義、廣畑俊成	ベーチェット病の臨床 関節炎	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P26
菊地弘敏	ベーチェット病の臨床 精巣上体炎(副睾丸炎)	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P27
久松理一	ベーチェット病の臨床 消化器病変(腸管型ベーチェット病)	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P29
岳野光洋	ベーチェット病の臨床 血管病変(血管ベーチェット病)	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P31-34
廣畑俊成	ベーチェット病の臨床 中枢神経病変(神経型ベーチェット病)	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P34
井上詠	ベーチェット病の臨床 血液生化学検査所見	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P38
石戸岳仁、黒澤美智子	ベーチェット病の臨床 疫学(症状、重症度の変遷)	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P42

岳野光洋	ベーチェット病の臨床 小児患者の妊娠について	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P47
山口賢一	ベーチェット病の臨床 小児ベーチェット病の特徴	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P49
中村晃一郎、金子史男、川上民裕、他	皮膚粘膜病変治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P54
後藤浩、大野重昭、蕪城俊克、北市伸儀、竹内正樹、竹内大、南場研一、他	眼病変治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P56
田中良哉、石ヶ坪良明、菊地弘敏、桐野洋平、桑名正隆、齋藤和義、沢田哲治、岳野光洋、東野俊洋、永瀧裕子、廣畑俊成	関節病変治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P58
菊地弘敏、石ヶ坪良明、沢田哲治、岳野光洋、永瀧裕子、中村晃一郎、廣畑俊成、水木信久	精巣上体炎診断治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P58
鈴木康夫、久松理一、井上詠、岳野光洋、長堀正和、他	腸管型ベーチェット病診断治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P59
岳野光洋、石ヶ坪良明、石橋宏之、荻野均、菊地弘敏、桐野洋平、桑名正隆、齋藤和義、沢田哲治、永瀧裕子、廣畑俊成、前田英明、他	血管型ベーチェット病診断治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P60
廣畑俊成、石ヶ坪良明、河内泉、菊地弘敏、桑名正隆、沢田哲治、岳野光洋、他	神経型ベーチェット病診断治療アルゴリズム	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P61

中村晃一郎、金子史男、川上民裕、他	皮膚粘膜病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P62-74
後藤浩、大野重昭、蕪城俊克、北市伸儀、竹内正樹、竹内大、南場研一、他	眼病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P75-98
田中良哉、石ヶ坪良明、菊地弘敏、桐野洋平、桑名正隆、齋藤和義、沢田哲治、岳野光洋、東野俊洋、永瀧裕子、廣畑俊成	関節病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P99-103
菊地弘敏、石ヶ坪良明、沢田哲治、岳野光洋、永瀧裕子、中村晃一郎、廣畑俊成、水木信久	精巣上位炎CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P104-106
鈴木康夫、久松理一、井上詠、岳野光洋、長堀正和、他	腸管病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P107-126
岳野光洋、石ヶ坪良明、石橋宏之、荻野均、菊地弘敏、桐野洋平、桑名正隆、齋藤和義、沢田哲治、永瀧裕子、廣畑俊成、前田英明、他	血管病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P127-139
廣畑俊成、石ヶ坪良明、河内泉、菊地弘敏、桑名正隆、沢田哲治、岳野光洋、他	神経病変CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P140-147
山口賢一、伊藤秀一、岩田直美	小児ベーチェット病CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P148-153

水木信久、岳野光洋、伊藤秀一、金子佳代子、桑名正隆、田中良哉、土橋浩章、久松理一、廣畑俊成、山口賢一	治療総論CQ	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P154-168
岳野光洋	ベーチェット病国際診断基準 (ISG, ICBD, PEDBDなど) との比較	水木信久 竹内正樹	「ベーチェット病診療ガイドライン2020」	診断と治療社	東京	2020	P170-171
岳野光洋	Behçet病	藤尾圭志	今日の疾患辞典	エイド出版	東京	2020	オンライン
岳野光洋	ベーチェット病	岡庭豊	イヤートopic 2020-2021	メディックメディア	東京	2020	F27-29
後藤浩	小児ぶどう膜炎	水口雅, 市橋 光, 崎山 弘, 藤秀一	今日の小児治療指針第17版	医学書院	東京	2020	837-838
菊地弘敏, 河野肇, 見尾光庸	ベーチェット病		臨床薬学	中山書店		2020	
竹内正樹, 水木信久	シクロスポリン加療中で神経症状を伴うベーチェット病患者	竹内大	症例から学ぼうぶどう膜炎診療のストラテジー	三輪書店	東京	2020	244-249
久松理一	腸管ベーチェット病		新領域別症候群シリーズ 消化管症候群 (第3	日本臨床社	東京	2020	p133-137
久松理一	第4章 腸疾患 腸管ベーチェット病	監修 矢崎義雄	新臨床内科学第10版	医学書院	東京	2020	p537-538
南場 研一	ぶどう膜炎	永井 良三	今日の治療指針	医学書院	東京	2020	1635-1637
岳野光洋	ベーチェット病	藤尾圭志	生物学的製剤適性使用ガイド	クリニコ出版	東京	2021	p83-91
岳野光洋	ベーチェット病	藤本学	皮膚科ベストセレクション 皮膚科膠原病 皮疹から全身を診る	中山書店	東京	2021	p418-423
川上民裕	アフタ性口腔粘膜疾患のすべて	照井正、 大山学	Monthly Book Dermatology	全日本病院出版社	東京	2021	304; 9-14

岳野光洋	ベーチェット病 II. 薬剤別分類 1 TNF阻害薬	藤尾圭志編	生物学的製剤適 性使用ガイド	クリニコ 出版	東京	2021	83-91
岳野光洋	ベーチェット病.	岡庭豊編	イヤーノートTo pics 2021-2022	メディッ クメデイ ア	東京	2021	F23-24
岳野光洋	ベーチェット病	藤本学編	皮膚科ベストセ レクション 皮 膚科膠原病 皮 疹から全身を診 る	中山書店	東京	2021	18-423
岳野光洋	ベーチェット病	矢崎義雄、 小室一成編	内科学	朝倉書店	東京	2022	pIII 410- 414
岳野光洋	ベーチェット病.	常 深 祐 一 郎、鶴田大 輔編	WHAT'S NEW in 皮膚科学 2 022-2023	メディカ ルレビュ ー社	東京	2022	p54-55
廣畑俊成	2. 膠原病に伴う神 経障害	下畑享良	脳神経内科診断 ハンドブック	中外医学 社	東京	2022	574-9
中村晃一郎	Behcet病	佐藤伸一、 他	今日の皮膚疾患 治療指針	医学書院	東京	2021	396-399
山口賢一	診断へのアプロー チ	Metropolit an Pediatr ic Rheuma tology Con ference	小児リウマチレ ジデントガイド	朝倉書店	東京	2021	17-32
山口賢一	若年発症の脊椎関 節炎	Metropolit an Pediatr ic Rheuma tology Con ference	小児リウマチレ ジデントガイド	朝倉書店	東京	2021	74-80
蕪城 俊克	ベーチェット病(眼 科)	福井次矢、 高木 誠、 小室一成 編集	今日の治療指針 2021年版	医学書院	東京	2021	1555
岳野光洋	免疫病・アレルギー 性疾患・膠原病	岡庭豊	year note 2023	メディッ クメデイ ア	東京	2022	43-59, 87-90
岳野光洋	ベーチェット病	岡庭豊	イヤーノート T opics 2022-202 3	メディッ クメデイ ア	東京	2022	24-25

岳野光洋	ベーチェット病.	矢崎義雄、 小室一成	内科学	朝倉書店	東京	2022	410-414
岳野光洋	ベーチェット病	常深祐一 郎、鶴田大 輔	WHAT' S NEW in 皮膚科学 2022 -2023	メディカ ルレビュー ー社	東京	2022	54-55
中村晃一郎	Behçet病	神人正寿、 常深祐一郎	皮膚科診療 秘 伝の書	南江堂	東京	2022	56-59
後藤浩	ぶどう膜炎		小児疾患診療の ための病態生理 3 改訂第6 版	東京医学 社	東京	2022	1043-104 6
蕪城俊克	硝子体の検体検査	根木 昭	眼科検査ガイド 第3版.	文光堂	東京	2022	737-738
岳野光洋	1 章ベーチェット 病の臨床 1. はじめに	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	1-2
黒澤美智子	2. 日本における近 年の疫学動向	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	3-9
中村晃一郎	各論 1. 粘膜病変（口腔内 アフタ、外陰部潰 瘍）	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	10-15
川上 民裕	2. 皮膚病変	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	16-22
蕪城俊克	3. 眼症状	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	23-30
東野俊洋	4. 関節炎	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	31-35
菊地弘敏	5. 精巣上体炎	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報社	東京	2023	36-39
長沼誠、福井寿 朗	6. 腸管病変	岳野光洋	現場がエキスパ ートに聞きたい ベーチェット病	日本医事 新報	東京	2023	40-47

岳野光洋	7. 血管病変	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	48-53
廣畑俊成	8. 神経病変	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	54-61
南場 研一	2章ベーチェット病治療薬を使いこなすには 1. コルヒチン	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	62-65
長堀正和	2. アザチオプリン	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	66-69
後藤浩	3. シクロスポリン	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	70-74
田中良哉	4. TNF阻害薬	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	75-82
脇谷理沙 土橋浩章	5. アプレミラスト	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社.	東京	2023	83-88
竹内正樹	3章エキスパートに聞きたい Nature vs Nurture?	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	89-94
桐野洋平	自己免疫 vs 自己炎症	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	95-96
岸本暢將	HLA-B51の診断的意義 (ASとの比較から)	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	97-99
堀田信之	臨床症状における人種差	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	100-104
竹内大	TNF阻害薬の中止は可能か	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	105-106
水木信久	眼科手術の変遷	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	107-112

井上詠	腸管型におけるTNF阻害薬と副腎皮質ステロイドの使い分け	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	113-115
永渕裕子	血管病変に対する抗凝固療法	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	122-125
石橋宏之	血管病変 手術 vs 血管内治療	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	122-125
菊地弘敏	CPNBのバイオマーカーとしてのIL-6について	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	131-132
田中良哉	分子標的治療薬の可能性 (TNF阻害薬、PDE4阻害薬以外)	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	133-138
金子佳代子	ベーチェット病と妊娠	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	139-145
山口賢一	小児ベーチェット病の特徴は	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新聞社	東京	2023	146-153
桐野洋平	precision medicineに向けて	岳野光洋	現場がエキスパートに聞きたいベーチェット病	日本医事新報社	東京	2023	162-167
中村晃一郎	Behçet 病		皮膚疾患 最新の治療	南江堂	東京	2023	109-110

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻	ページ	出版年
Isobe M, A Kawakami T, Takeno M, Dobashi H, et al	JCS 2017 Guideline on Management of Vasculitis Syndrome- Digest Version	Circ J	84(2)	299-359	2020

Watanabe K, Tani da S, <u>Inoue N</u> , Ku nisaki R, Kobayash i K, Nagahori M, Arai K, Uchino M, Koganei K, Kobaya shi T, <u>Takeo M</u> , Ueno F, Matsumot o T, <u>Mizuki N</u> , Su zuki Y, <u>Hisamatsu</u> <u>T</u>	Evidence-based diagnosis and clinical practice guid elines for intestinal Behç et's disease 2020 edited b y Intractable Diseases, th e Health and Labour Scie nces Research Grants	J Gastroent erol	55(7)	679-700	2020
Hirohata S , <u>Kikuc hi H</u> , Sawada T, O kada M, <u>Takeo M</u> , <u>Kuwana M</u> , Ka wachi I, Mochizuki H, Kusunoki S, <u>Is higatsubo Y</u> .	Recommendations for the Management of Neuro-Be hçet's Disease by the Jap anese National Research Committee for Behçet's Di sease.	Intern Med	59(19)	2359-2367	2020 PMID: 326 11961
Shimizu H, Usui Y, Asakage M, Nezu N, Wakita R, Tsub ota K, Sugimoto M, <u>Goto H</u> .	Serum metabolomic profil ing of patients with non-i nfectious uveitis.	J Clin Med.	2020 Dec 6;9(12):395 5. doi:10.339 0/jcm91239 55.	2020 Dec 6; 9(12):3955. doi:1 0.3390/jcm9 123955. PMID:33 291298	2020
Asakage M, Usui Y, Nezu N, Shimiz u H, Tsubota K, Y amakawa N, Tak anashi M, Kuroda M, <u>Goto H</u> .	Comprehensive miRNA a nalysis using serum from patients with noninfectio us uveitis.	Invest Ophth almol Vis Sci.	2020 Sep 1;61(11):4. doi:10.116 7/iovs.61.1 1.4.	2020 Sep 1; 61(11):4. do i:10.1167/iov s.61.11.4. PMI D: 3287669 1	2020
Takase H, <u>Goto H</u> , <u>Namba K</u> , <u>Mizu ki N</u> , Okada AA, Ohguro N, Sonoda KH, Tomita M, K eino H, Kezuka T, Kubono R, Mizuu chi K, Shibuya E, Takahashi H, Ya nai R, Mochizuki M.	Clinical characteristics, m anagement, and factors as sociated with poor visual prognosis of acute retinal necrosis.	Ocul Immu nol Inflam m.	2020 Sep 18:1-6. doi:10.108 0/0927394 8.2020.178 9179. Online ahead of print.	2020 Sep 1 8:1-6. do i:10.1080/09 273948.202 0.1789179. Online ahead of print. PMID:32945 715	2020

Kunimi K, Usui Y, Asakage M, Maehara C, Tsubota K, Mitsuhashi R, Umazume A, Kezuka T, Sakai JI, Goto H.	Anti-TNF- α therapy for refractory uveitis associated with Behçet's syndrome and Sarcoidosis: A single center study of 131 patients	Ocul Immunol Inflamm.	2020 Aug 20:1-8. doi:10.1080/09273948.2020.1791346. Online ahead of print.	2020 Aug 20:1-8. doi:10.1080/09273948.2020.1791346. Online ahead of print. PMID: 32815752	2020
Tsubota K, Usui Y, Goto H.	Identification of prognostic markers in patients with primary vitreoretinal lymphoma by clustering analysis using clinical data.	J Clin Med	2020 Jul 20:9(7):2298. doi:10.3390/jcm9072298.	2020 Jul 20:9(7):2298. doi:10.3390/jcm9072298. PMID:32698394	2020
Minezaki T, Usui Y, Asakage M, Takashashi M, Shimizu H, Nezu N, Narimatsu A, Tsubota K, Umazume K, Yamakawa N, Kuroda M, Goto H.	High-throughput microRNA profiling of vitreoretinal lymphoma: vitreous and serum microRNA profiles distinct from uveitis.	J Clin Med.	2020 Jun 12:9(6):1844. doi:10.3390/jcm9061844.	2020 Jun 12:9(6):1844. doi:10.3390/jcm9061844. PMID:32545709	2020
Merrill PT, Vitale A, Zierhut M, Goto H, Kron M, Song AP, Pathai S, Fortin E.	Efficacy of Adalimumab in non-infectious uveitis across different etiologies: A post hoc analysis of the VISUAL I and VISUAL II trials.	Ocul Immunol Inflamm.	2020 May 29:1-7. doi:10.1080/09273948.2020.1757123. Online ahead of print.	2020 May 29:1-7. doi:10.1080/09273948.2020.1757123. Online ahead of print. PMID: 32469621	2020
Kitazawa T, Yoshino Y, Asako K, Kikuchi H, Kono H, Ota Y.	Recent increase in non-tuberculous mycobacterial infection in patients with connective tissue diseases in Japan.	J Infect Chemother.	26	941-945	2020
Tsutsui H, Kikuchi H, Oguchi H, Nomura K, Ohkubo T.	Identification of Physical and Psychosocial Problems Based on Symptoms in Patients With Behçet's Disease.	Rheumatol Int.	40	81-89	2020

Hirahara L, Kirino Y, Soejima Y, Takeno M, Takase-Minogishi K, Yoshimura R, Takeuchi M, Mizuki N, Nakajima H	Efficacy and safety of apremilast for 3 months in Behçet's disease: A prospective observational study	Mod Rheumatol	30	1-6	2020
Mizuki Y, Horita N, Horie Y, Takeuchi M, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Minogishi K, Yoshimura R, Kirino Y, Kato S, Arimoto J, Fukumoto T, Kuroswa M, Kitaichi N, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N	The influence of HLA-B51 on clinical manifestations among Japanese patients with Behçet's disease: A nationwide survey. Mod Rheumatol	Mod Rheumatol	30	708-714	2020
Nakamura K, Iwata Y, Asai J, Kawakami T, Tsunemi Y, Takeuchi M, Mizuki N, Kaneko F	Members of the Consensus Conference on Treatment of Skin and Mucosal Lesions (Committee of Guideline for the Diagnosis and Treatment of Mucocutaneous Lesions of Behçet's disease): Guidelines for the treatment of skin and mucosal lesions in Behçet's disease: A secondary	J Dermatol	47	223-235	2020
Riahi P, Kazemnejad A, Mostafaei S, Meguro A, Mizuki N, Ashraf-Ganjouei A, Javinani A, Faezi ST, Shahram F, Mahmoudi M	ERAP1 polymorphisms interactions and their association with Behçet's disease susceptibly: Application of Model-Based Multifactor Dimension Reduction Algorithm (MB-MDR)	PLoS One	15		2020

Hayashida M, Miyoshi J, Mitsui T, Miura M, Saito D, Sakuraba A, Kawashima S, Ikegaya N, Fukuoka K, Karube M, Komagata Y, Kaname S, Okada AA, Fujimori S, Matsuura M, <u>Hisamatsu T</u> .	Elevated fecal calprotectin and lactoferrin are associated with small intestinal lesions in patients with Behçet disease.	J Gastroenterol Hepatol	Aug;35(8)	1340-1346	2020
Shirahama S, <u>Kaburaki T</u> , Matsuda J, Tanaka R, Nakahara H, Komae K, Kawashima H, Aihara M.	The Relationship between Fluorescein Angiography Leakage after Infliximab Therapy and Relapse of Ocular Inflammatory Attacks in Ocular Behçet's Disease Patients.	Ocul Immunol Inflamm	28(8)	1166-1170	2020
Tanaka R, <u>Kaburaki T</u> , Yoshida A, Takamoto M, Miyajima T, Yamaguchi T.	Fluorescein Angiography Scoring System Using Ultra-Wide-Field Fluorescein Angiography Versus Standard Fluorescein Angiography in Patients with Sarcoid Uveitis.	Ocul Immunol Inflamm	In press		2020
Kitano M, Tanaka R, <u>Kaburaki T</u> , Nakahara H, Shirahama S, Suzuki T, Komae K, Aihara M.	Clinical Features and Visual Outcome of Uveitis in Japanese Patients Younger than 18 Years.	Ocul Immunol Inflamm	In press		2020

Fukunaga H, Kaburaki T , Shirahama S, Tanaka R, Murata H, Sato T, Takeuchi M, Tozawa H, Urade Y, Katsura M, Kobayashi M, Wada Y, Soga H, Kawashima H, Kohro T, Aihara M.	Analysis of inflammatory mediators in the vitreous humor of eyes with panuveitis according to aetiological classification.	Sci Rep	10(1)	2783	2020
Kaburaki T , Fukunaga H, Tanaka R, Nakahara H, Kawashima H, Shirahama S, Izawa H, Komae K, Takamoto M, Soga H, Aihara M.	Retinal vascular inflammatory and occlusive changes in infectious and non-infectious uveitis.	Jpn J Ophthalmol	64(2)	150-159	2020
Louthrenoo W, Kasitanon N, Pathanapitoo K, Wangkaew S, Kuwata S, Nijishi A, Kaburaki T , Tanaka R, Takeuchi F.	Contribution of HLA-B*51:01 and -A*26:01 to Behçet's disease and their clinical association in Thai patients.	Int J Rheum Dis.	23(2)	247-255	2020
Shirahama S, Kaburaki T , Takada S, Nakahara H, Tanaka R, Komae K, Fujino Y, Kawashima H, Aihara M.	Comparison of visual field defect progression in secondary Glaucoma due to anterior uveitis caused by three types of herpes viruses.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol.	258(3)	639-645	2020
Igarashi N, Honjo M, Yamagishi R, Kurano M, Yatomi Y, Igarashi K, Kaburaki T , Aihara M.	Involvement of autotaxin in the pathophysiology of elevated intraocular pressure in Posner-Schlossman syndrome.	Sci Rep	10(1)	6265.	2020

Nakahara H, Kaburaki T , Tanaka R, Yoshida A, Takamoto M, Kawata M, Fujino Y, Kawashima H, Aihara M.	Comparisons of Clinical Features in Japanese Patients with Behçet's Uveitis Treated in the 1990s and the 2000s.	Ocul Immunol Inflamm.	28(2)	262-269	2020
Sato T, Yamamoto W, Tanaka A, Shimazaki H, Sugita S, Kaburaki T , Takeuchi M.	Viral Loads in Ocular Fluids of Acute Retinal Necrosis Eyes Infected by Varicella-Zoster Virus Treated with Intravenous Acyclovir Treatment.	J Clin Med.	9(4)	pii: E1204	2020
Shirahama S, Miki A, Kaburaki T , Akimitsu N.	Long Non-coding RNAs Involved in Pathogenic Infection.	Front Genet.	11	454	2020
Kinoshita N, Konno Y, Hamada N, Kanda Y, Shimmura-Tomita M, Kaburaki T , Kakehashi A.	Efficacy of combined orthokeratology and 0.01% atropine solution for slowing axial elongation in children with myopia: a 2-year randomised trial.	Sci Rep	10	12750	2020
Igarashi N, Honjo M, Kaburaki T , Aihara M.	Effects of ROCK Inhibitors on Apoptosis of Corneal Endothelial Cells in CMV-Positive Posner-Schlossman Syndrome Patients.	Invest Ophthalmol Vis Sci.	61(10)	5	2020
van Calster J, Cimino L, Adan A, Gotto H, Kaburaki T , Kramer M, Vitale AT, Kron M, Song AP, Liu J, Pathai S, Douglas KM, Schlaen A, Muccioli C, Van Velthoven MEJ, Zierhut M, Rosenbaum JT.	Long-Term Safety and Efficacy of Adalimumab in Patients With Noninfectious Intermediate Uveitis, Posterior Uveitis, or Panuveitis.	Ophthalmology.	In press		2020

<p>Shirahama S, Onoguchi-Mizutani R, Kawata K, Taniue K, Miki A, Kato A, Kawaguchi Y, Tanaka R, Kaburaki T, Kawashima H, Urade Y, Aihara M, Akimitsu N.</p>	<p>Long noncoding RNA U90926 is crucial for herpes simplex virus type 1 proliferation in murine retinal photoreceptor cells.</p>	<p>Sci Rep</p>	<p>10(1)</p>	<p>19406</p>	<p>2020</p>
<p>Zhou HP, Tanaka R, Kaburaki T.</p>	<p>Multidisciplinary Diagnostic Approach in Intraocular Lymphoma Featuring Pseudo-hypopyon: Case Series and Literature Review.</p>	<p>Ocul Immunol Inflamm.</p>	<p>In press</p>		<p>2020</p>
<p>Meguro A, Ishihara M, Petrek M, Yamamoto K, Takeuchi M, Mrazek F, Krolek V, Benicka A, Yamane T, Shibuya E, Yoshino A, Isomoto A, Ota M, Yatsu K, Shijubo N, Nagai S, Yamaguchi E, Yamaguchi T, Namba K, Kaburaki T, Takase H, Morimoto SI, Hori J, Kono K, Gotto H, Suda T, Ikushima S, Ando Y, Takanaka S, Takeuchi M, Yuasa T, Sugisaki K, Ohguro N, Hiraoka M, Kitachi N, Sugiyama Y, Horita N, Asukata Y, Kawagoe T, Kimura I, Ishido M, Inoko H, Mochizuki M, Ohno S, Bahram S, Remmers EF, Kastner DL, Mizuki N.</p>	<p>Genetic control of CCL24, CCR4, and IL23R contributes to the pathogenesis of sarcoidosis.</p>	<p>Commun Biol.</p>	<p>3(1)</p>	<p>465</p>	<p>2020</p>

Balt J, Uehara O, Abiko Y, Jamyanjav B, Jav S, Nagasawa T, Horie Y, Mori M, Fujita M, Lennikov A, Ohta T, Hiraoka M, Iwata D, <u>Namba K</u> , Ohno S, Kitaichi N.	Alteration of oral flora in Mongolian patients with Behcet's disease – A multicenter study	Clin Exp Rheumatol	127	80-85	2020
Liu Y, Kitaichi N, Wu D, Hase K, Satoh M, Iwata D, <u>Namba K</u> , Kanda A, Noda K, Itai A, Iwabuchi K, Ishida S	Attenuation of experimental autoimmune uveoretinitis in mice by IKK β inhibitor IMD-0354	Biochem Biophys Res Commun.	525	589-594	2020
Kato H, Takeuchi M, Horita N, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Mizuki Y, Hayashi T, Meguro A, <u>Kirino Y</u> , Minegishi K, Nakano H, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Hotta K, Kaneko T, <u>Mizuki N</u> .	HLA-A26 is a Risk Factor for Behçet's Disease Ocular Lesions.	Mod Rheumatol	31	214-218	2020
<u>Nakamura K</u> , Tsunemi Y, Kaneko F, Alpsy E	Mucocutaneous manifestations of Behçet's disease	Frontiers in Medicine	7: 613432	doi: 10.3389/fmed.2020.613432.	2021
Sonoda KH, Hasegawa E, <u>Namba K</u> , Okada AA, Ohguro N, Goto H; JOIS (Japanese Ocular Inflammation Society) Uveitis Survey WorkingGroup.	Epidemiology of uveitis in Japan: a 2016 retrospective nationwide survey.	Jpn J Ophthalmol.	2021 Mar 11. doi:10.1007/s10384-020-00809-1. Online ahead of print.	2021 Mar 11. doi:10.1007/s10384-020-00809-1. Online ahead of print. PMID: 33694024	2021

Tomizuka T, Kikuchi H , Asako K, Tsukui D, Kimura Y, Kikuchi Y, Sasajima Y, Kono H.	Kimura's disease associated with juvenile temporal arteritis? A case report and literature review of all juvenile temporal arteritis cases.	Modern Rheumatology Case Reports	5	123-129	2021
Hirohata S, Kikuchi H .	Role of Serum IL-6 in Neuropsychiatric Systemic lupus Erythematosus.	ACR open rheumatology	3	42-49	2021
Soejima Y, Kirino Y , Takekoshi M , Kurosawa M , Takeuchi M, Yoshimo R, Sugiyama Y, Ohno S, Asami Y, Sekiguchi A, Igarashi T, Nagaoka S, Ishigatsubo Y , Makajima H, Mizuki N	Changes in the proportion of clinical clusters contribute to the phenotypic evolution of Behçet's disease in Japan	Arthritis Rheumatism Therapeutics	23(1)	49	2021
Hatemi G, Mahr A, Takekoshi M, Kim DY, Saadoun D, Direskeneli H, Melikoglu M, Cheng S, McCue S, Paris M, Chen M, Yazici Y	Apremilast for oral ulcers associated with active Behçet's syndrome over 68 weeks: long-term results from a phase 3 randomised clinical trial.	Clinical Experimental Rheumatology	Suppl 132(5)	80-87	2021
Takekoshi M, Dobashi H, Tanaka Y, Kono H, Sugii S, Kimura H, Shimoto M, Cheng S, McCue S, Paris M, Chen M, Ishigatsubo Y.	Apremilast in a Japanese subgroup with Behçet's syndrome: Results from a phase 3, randomised, double-blind, placebo-controlled study.	Modern Rheumatology	28;32(2)	413-421.	2022
Takekoshi M	The association of Behçet's syndrome with HLA-B*51 as understood in 2021	Current Opinion in Rheumatology	34(1)	4-9	2022

Hase K, Namba K, Wada H, Tsuji H, Maeda A, Murata T, Otsuka R, Iwata D, Kanda A, Noda K, Kitaichi N, Seino K, Ishida S.	Macrophage-like iPS-derived suppressor cells reduce Th1-mediated immune response to a retinal antigen.	Curr Eye Res.	46(12)	1908-1916.	2021
Iwata D, Namba K, Yamamoto T, Mizuuchi K, Saito W, Ohno S, Kitaichi N, Ishida S.	Recent clinical features of intraocular inflammation in Hokkaido, Japan - comparison with the previous decade.	Ocul Immunol Inflamm.	Feb,11.	1-7 Online ahead of print	2022
Sonoda KH, Hasegawa E, Namba K, Okada AA, Ohguro N, Goto H; JOIS (Japanese Ocular Inflammation Society) Uveitis Survey Working Group.	Epidemiology of uveitis in Japan: a 2016 retrospective nationwide survey.	Jpn J Ophthalmol.	65	184-190	2021
Hirohata S, Kikuchi H, Ueda M, Kyogoku M.	Histopathology of perforated gastrointestinal tracts in Behçet's disease: evidence for the critical role of thrombophilia.	Clin Exp Rheumatol.	39	137-138 doi: 10.55563/clinexprheumatol/p24org.	2021
Merrill PT, Vitale A, Zierhut M, Goto H, Kron M, Song AP, Pathai S, Fortin E.	Efficacy of Adalimumab in non-infectious uveitis across different etiologies: A post hoc analysis of the VISUAL I and VISUAL II trials.	Ocul Immunol Inflamm.	29	1569-1575 doi:10.1080/09273948.2020.1757123.	2021
Kunimi K, Usui Y, Tsubota K, Kezuka T, Goto H.	Intraocular surgery under adalimumab therapy in patients with refractory uveitis: a single center study of 23 eyes.	Jpn J Ophthalmol.	65	836-842	2021
Umazume A, Ohguro N, Okada AA, Namba K, Sonoda KH, Tsuruga H, Morita K, Goto H.	Prevalence and incidence rates and treatment pattern of non-infectious uveitis in Japan: real-world data using a claims database.	Jpn J Ophthalmol.	65	657-665	2021

Kunimi K, Usui Y, Tsubota K, Mitsuhashi R, Umazume A, Kezuka T, Sakai J, Goto H.	Changes in etiology of uveitis in a single center in Japan.	Ocul Immunol Inflamm.	29	976-981	2021
Suhler EB, Jaffe GJ, Fortin E, Lim LL, Merrill PT, Dick AD, Brezin AP, Nguyen QD, Thorne JE, Van Calster J, Cimino L, Adan A, Goto H, Kaburaki T, Kramer M, Vitale AT, Kron M, Song AP, Liu J, Pathai S, Douglas KM, Schlaen A, Muccioli C, Van Velthoven MEJ, Zierhut M, Rosenbaum JT.	Long-term safety and efficacy of adalimumab in patients with noninfectious intermediate uveitis, posterior uveitis, or panuveitis.	Ophthalmology.	128	899-909 6.	2021
Tono T, Kikuchi H, Sawada T, Takeno M, Nagafuchi H, Kirino Y, Tanaka Y, Yamaoka K, Hirohata S.	Clinical features of Behçet's disease patients with joint symptoms in Japan: a national multicenter study.	Mod Rheumatol	29(11)	roab092	2021
Iizuka Y, Takase-Minegishi K, Hirahara L, Kirino Y, Soekijima Y, Namkoong H, Horita N, Yoshimi R, Takeuchi M, Takeno M, Mizuki N, Nakajima H.	Beneficial effects of apremilast on genital ulcers, skin lesions, and arthritis in patients with Behçet's disease: A systematic review and meta-analysis.	Mod Rheumatol	10(11)	roab098	2021

Ando K, Fujiya M, Watanabe K, Hiraoka S, Shiga H, Tanaka S, Iijima H, Mizushima T, Kobayashi T, Nagahori M, Ikeuchi H, Kato S, Torisu T, Kobayashi K, Higashiyama M, Fukui T, Kagaya T, Esaki M, Yanai S, Abukawa D, Naganuma M, Motoya S, Saruta M, Bamba S, Sasaki M, Uchiyama K, Fukuda K, Suzuki H, Nakase H, Shimizu T, Iizuka M, Watanabe M, Suzuki Y, Hisamatsu T.	A nationwide survey concerning the mortality and risk of progressing severity due to arterial and venous thromboembolism in inflammatory bowel disease in Japan	Journal of gastroenterology	56(12)	1062-1079	2021
Nakase H, Uchino M, Shinzaki S, Matsura M, Matsuoka K, Kobayashi T, Saruta M, Hirai F, Hata K, Hiraoka S, Esaki M, Sugimoto K, Fuji T, Watanabe K, Nakamura S, Inoue N, Itoh T, Naganuma M, Hisamatsu T, Watanabe M, Miwa H, Enomoto N, Shimosagawa T, Koike K	Evidence-based clinical practice guidelines for inflammatory bowel disease 2020	Journal of gastroenterology	56(6)	489-526.	2021
Yamagishi J, Kago R, Saito M, Fujimoto C, Kikuchi H, Ito K.	Acute pharyngitis with the abrupt manifestation of neurological disorders, leading to a diagnosis of Neuro-Behçet's disease.	Acta Oto-Laryngologica Case Reports	6	71-74	2021

Soejima Y, Kirino Y, Takeno M, Kurosawa M, Takeuchi M, Yoshimi R, Sugiyama Y, Ohno S, Yukiko Asami Y, Sekiguchi A, Igarashi T, Nagaoka S, Ishigatsubo Y, Nakajima H, Mizuki N.	Changes in the proportion of clinical clusters contribute to the phenotypic evolution of Behçet's disease in Japan.	Arthritis Rheas Ther.	23(1)	49	2021
Ortiz Fernández L, Coit P, Yilmaz V, Yentür SP, Alibaz-Oner F, Aksu K, Erkmen E, Düzgün N, Keser G, Cefle A, Yazici A, Ergen A, Alpsoy E, Salvarani C, Casali B, Kısacık B, Kötter I, Hennes J, Çınar M, Schaefer A, Nohutcu RM, Zhernakova A, Wijmenga C, Takeuchi F, Harihara S, Kaburaki T, Messedi M, Song YW, Kaşifoğlu T, Carmona FD, Guthridge JM, James JA, Martin J, González Escribano MF, Saruhan-Direskeneli G, Direskeneli H, Sawalha AH.	Genetic association of a gain of function interferon gamma receptor 1 (IFNGR1) polymorphism and the intergenic region LNCA/ROD/DKK1 with Behçet's disease.	Arthritis Rheumatol.	73(7)	1244-1252	2021
Ida Y, Takeuchi M, Ishihara M, Shibuya E, Yamane T, Hasumi Y, Kawano S, Kimura I, Mizuki N.	An open-label, prospective, single-arm study of switching from infliximab to cyclosporine for refractory uveitis in patients with Behçet's disease in long-term remission.	Jpn J Ophthalmol	65(6)	843-848	2021

Kato H, Takeuchi M, Horita N, Ishido T, Mizuki R, Kawagoe T, Shibuya E, Yuda K, Ishido M, Mizuki Y, Hayashi T, Meguro A, Kirino Y, Minegishi K, Nakano H, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Hotta K, Kaneko T, Mizuki N.	HLA-A26 is a risk factor for Behcet's disease ocular lesions.	Mod Rheumatol	31(1)	214-218	2021
Zhong Z, Su G, Zhou Q, Meguro A, Takeuchi M, Mizuki N, Ohno S, Liao W, Feng X, Ding J, Gao Y, Chi W, Zhang M, Zuo X, Yang P.	Tuberculosis Exposure With Risk of Behcet Disease Among Patients With Uveitis.	JAMA Ophthalmol	139(4)	415-422	2021
Takeuchi M, Mizuki N, Ohno S.	Pathogenesis of Non-Infectious Uveitis Elucidated by Recent Genetic Findings.	Front Immunol	Apr 12	12:640473	2021
Nakamura J, Takeuchi M, Ota M, Mizuki N, Ohno S.	Does the interaction of KIR and HLA affect the development of non-infectious uveitis?	Curr Mol Med	Oct 26	doi: 10.2174/1566524021666211027092124.	2021
Namba K, Kaburaki T, Tsuruga H, Ogawa Y, Iwashita E, Goto H.	Long-term safety and effectiveness of adalimumab in Japanese patients with noninfectious intermediate, posterior, or panuveitis: post-marketing surveillance of 251 patients.	Ophthalmol Ther.	19(2)	Mar 19	2022
Kunimi K, Usui Y, Asakage M, Maehara C, Tsubota K, Mitsuhashi R, Umazume A, Kezuka T, Sakai JI, Goto H.	Anti-TNF-alpha therapy for refractory uveitis associated with Behcet's syndrome and sarcoidosis: a single center study of 131 patients.	Ocul Immunol Inflamm.	30	223-230	2022

Hirahara L, Takase-Minegishi K, Kirino Y, Iizuka-Iribe Y, Soejima Y, Yoshimi R, Nakajima H.	The roles of monocytes and macrophages in Behçet's disease with focus on M1 and M2 polarization.	Front Immunol,	13	852297	2022
Kishi M, Hirai F, Takatsu N, Hisabe T, Takada Y, Bepu T, Takeuchi K, Naganuma M, Ohtsuka K, Watanabe K, Matsumoto T, Esaki M, Koganei K, Sugita A, Hata K, Futami, Ajioka Y, Tanabe H, Iwashita A, Shimizu H, Arai K, Suzuki Y, Hisamatsu T	A review on the current status and definitions of activity indices in inflammatory bowel disease: how to use indices for precise evaluation	Journal of gastroenterology	57(4)	246-2660	2022
Tsutsui H, Kikuchi H, Oguchi H, Konno K, Ohkubo T.	Validity and reliability of a checklist for patients with Behçet's disease based on the international classification of functioning, disability and health.	Rheumatology international	42	159-165.	2022
Onaka T, Nakano K, Uemoto Y, Miyakawa N, Otsuka Y, Ogura-Kato A, Iwai F, Tanaka Y, Yonezawa A	Allogeneic stem cell transplantation for trisomy 8-positive myelodysplastic syndrome or myelodysplastic / myeloproliferative disease with refractory Behçet's disease, case report and the review of literature.	Mod Rheumatol Case Reports	Apr 2	rxac032.	2022
Nagano A, Takeuchi M, Horita N, Teshigawara T, Kawagoe T, Mizuki Y, Meguro A, Nakano H, Kirino Y, Takase-Minegishi K, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N.	Behçet's disease and activities of daily living.	Rheumatology (Oxford)	Mar 2;61(3)	1133-1140.	2022

<p>Takekoshi M, Dobashi H, Tanaka Y, Kono H, Sugii S, Kishimoto M, Cheng S, McCue S, Paris M, Chen M, Ishigatsubo Y.</p>	<p>Apremilast in a Japanese subgroup with Behçet's syndrome: Results from a phase 3, randomized, double-blind, placebo-controlled study.</p>	<p>Mod Rheumatol</p>	<p>32(2)</p>	<p>413-421 doi: 10.1093/mr/roab008</p>	<p>2022</p>
<p>Nagano A, Takeuchi M, Horita N, Teshigawara T, Kawagoe T, Mizuki Y, Meguro A, Nakano H, Kirino Y, Takase-Minegishi K, Yoshimi R, Kurosawa M, Fukumoto T, Takeno M, Kaneko T, Mizuki N.</p>	<p>Behçet's disease and activities of daily living</p>	<p>Rheumatology (Oxford).</p>	<p>61(3)</p>	<p>1133-1140 doi:10.1093/rheumatology/keab499.</p>	<p>2022</p>
<p>Iizuka Y, Takase-Minegishi K, Hirahara L, Kirino Y, Soejima Y, Namkong H, Horita N, Yoshimi R, Takeuchi M, Takeno M, Mizuki N, Nakajima H.</p>	<p>Beneficial effects of apremilast on genital ulcers, skin lesions, and arthritis in Behçet's disease: systematic review and meta-analysis</p>	<p>Mod Rheumatol</p>	<p>32(6):</p>	<p>1153-1162 doi: 10.1093/mr/roab098</p>	<p>2022</p>
<p>Tono T, Kikuchi H, Sawada T, Takano M, Nagafuchi H, Kirino Y, Tanaka Y, Yamaoka K, Hirohata S.</p>	<p>Clinical Features of Behçet's Disease Patients with Joint Symptoms in Japan: A National Multicenter Study.</p>	<p>Mod Rheumatol</p>	<p>32(6)</p>	<p>1146-1152 doi: 10.1093/mr/roab092.</p>	<p>2022</p>
<p>Hirohata S</p>	<p>Histopathological characteristics of central nervous system in chronic progressive neuro-Behçet's disease.</p>	<p>J Neurol Sci</p>	<p>434</p>	<p>120127 doi: 10.1016/j.jns.2021.120127.</p>	<p>2022</p>
<p>Tsukui D, Hirohata S, Kikuchi H, Uozaki H, Kono H.</p>	<p>Histopathology of pulmonary thromboembolism in a patient with Behçet's disease.</p>	<p>Clin Exp Rheumatol</p>	<p>40(8)</p>	<p>1584-1587 doi: 10.55563/clinexprheumatol/il4pc7.</p>	<p>2022</p>

Kim D, Nakamura K, Kaneko F, Alpsyoy E, Bang D.	Mucocutaneous manifestations of Behçet's disease : pathogenesis and management from perspectives of vasculitis.	Front Med (Lausanne)	9	987393 doi: 10.3389/fmed.2022.987393	2022
Umazume A, Ohguro N, Okada AA, Namba K, Sonoda KH, Tsuruga H, Morita K, Goto H.	Use of systemic corticosteroids in patients newly registered at a claims database with a diagnosis of non-infectious uveitis: results from a real-world claims database analysis.	Jpn J Ophthalmol	66	394-404	2022
Onaka T, Nakano K, Uemoto Y, Miyakawa N, Otsuka Y, Ogura-Kato A, Iwai F, Tanaka Y, Yonezawa A.	Allogeneic stem cell transplantation for trisomy 8-positive myelodysplastic syndrome or myelodysplastic/myeloproliferative disease with refractory Behçet's disease: Case report and the review of literature.	Mod Rheumatol Case Reports	6	273-277	2022
Su G, Zhong Z, Zhou Q, Du L, Ye Z, Li F, Zhuang W, Wang C, Liang L, Ji Y, Cao Q, Wang Q, Chang R, Tan H, Yi S, Li Y, Feng X, Liao W, Zhang W, Shu J, Tan S, Xu J, Pan S, Li H, Shi J, Chen Z, Zhu Y, Ye X, Tan X, Zhang J, Liu Z, Huang F, Yuan G, Pang T, Liu Y, Ding J, Gao Y, Zhang M, Chi W, Liu X, Wang Y, Chen L, Meguro A, Takeuchi M, Mizuki N, Ohno S, Zuo X, Kijlstra A, Yang P.	Identification of Novel Risk Loci for Behçet's Disease-Related Uveitis in a Chinese Population in a Genome-Wide Association Study.	Arthritis Rheumatol	74	671-681	2022

Wakiya R, Ushio Y, Ueeda K, Kameda T, Shimada H, Nakashima S, Kato M, Miyagi T, Sugihara K, Mizusaki M, Mino R, Kadowaki N, Dobashi H.	Efficacy and safety of apremilast and its impact on serum cytokine levels in patients with Behçet's disease.	Dermatol Ther.		35(8):e15616	2022
Jo YG, Ortiz-Fernández L, Coit P, Yilmaz V, Yentür S, P, Alibaz-Oner F, Aksu K, Erken E, Düzgün N, Keser G, Cefle A, Yazici A, Ergen A, Alpsy E, Salvarani C, Kısacık B, Kötter I, Henes J, Çınar M, Schaefer A, Nohutcu RM, Takeuchi F, Harihara S, Kaburaki T, Messedi M, Song YW, Kaşifoğlu T, Martin J, González Escobedo MF, Saruhan-Direskeneli G, Direskeneli H, Sawalha AH.	Sex-specific analysis in Behçet's disease reveals higher genetic risk in male patients.	J Autoimmun	132	102882.	2022
Namba K, Kaburaki T, Tsuruga H, Ogawa Y, Iwashita E, Goto H.	Long-Term Safety and Effectiveness of Adalimumab in Japanese Patients with Noninfectious Intermediate, Posterior, or Panuveitis: Post-Marketing Surveillance of 251 Patients.	Ophthalmol Ther	11(3)	1147-1161	2022
Iwata D, Namba K, Yamamoto T, Mizuuchi K, Saito W, Ohno S, Kitaichi N, Ishida S.	Recent Clinical Features of Intraocular Inflammation in Hokkaido, Japan - Comparison with the Previous Decade.	Ocul Immunol Inflamm	30	848-854	2022

Namba K, Takase H, Usui Y, Nitta F, Maruyama K, Kusuhara S, Takeuchi M, Azumi A, Yanai R, Kaneko Y, Hasegawa E, Nakai K, Tsuruga H, Mori K, Kaburaki T.	Multicenter, retrospective, observational study for the Treatment Pattern of systemic corticosteroids for relapse of non-infectious uveitis accompanying Vogt-Koyanagi-Harada disease or sarcoidosis.	Jpn J Ophthalmol	66	130-141	2022
Hirahara L, Takasue-Minegishi K, Kirino Y, Iizuka-Iribehara Y, Soejima Y, Yoshimura R, Nakajima H.	The Roles of Monocytes and Macrophages in Behçet's Disease with Focus on M1 and M2 Polarization	Frontiers in Immunology	13	852297-852297	2022
Matsumoto H, Asano T, Tsuchida N, Maeda A, Yoshida S, Yokose K, Fujita Y, Temmoku J, Matsuoka N, Yashiro-Furuya M, Sato S, Irie K, Norikawa N, Yamamoto T, Endo M, Fukuchi K, Ohkawara H, Ikezoe T, Uchiyama Y, Kirino Y, Matsumoto N, Watanabe H, Migita K.	Behçet's disease with a spontaneous UBA1 variant: Expanding spectrum of autoimmune inflammatory phenotypes of VEXAS syndrome.	Clinical immunology	238	108996-108996	2022
Nagafuchi H, Kikuchi H, Ishibashi H, Maeda H, Ogino H, Kirino Y, Sawada T, Saito K, Kawanishi M, Hirohata S, Ishigatsubo Y, Niimi M, Okita Y, Miyata T, Shigematsu H, Takeno M.	Recommendations for the management of the vascular involvement in Behçet's disease by the Japanese national research committee for Behçet's disease-secondary publication.	Mod Rheumatol.	Online ahead of print.	Jan 2023:road002 doi: 10.1093/mr/road002.	2023
Tomizuka T, Kikuchi H, Okubo M, Asakura K, Miyata S, Kono H.	Natural history of Behçet's disease focusing on remission of oral ulcers	Mod Rheumatol.	33	566-573 doi: 10.1093/mr/roac035	2023

Takeuchi M, Usui Y, Namba K, Keino H, Takeuchi M, Takase H, Kamoi K, Hase K, Ito T, Nakai K, Maruyama K, Kobayashi E, Mashimo H, Sato T, Ohguro N, Hori J, Okada AA, Sonoda KH, Mizuki N, Goto H.	Ten-year follow-up of infliximab treatment for uveitis in Behcet disease patients: A multicenter retrospective study.	Front Med (Lausanne)	Ahead online	2023 Jan 20;10:1095423 doi: 10.3389/fmed.2023.1095423	2023
Hashimoto Y, Yamana H, Iwagami M, Ono S, Takeuchi Y, Michihata N, Uemura K, Yasunaga H, Aihara M, Kaburaki T.	Ocular adverse events after COVID-19 mRNA vaccination: matched cohort and self-controlled case series studies using a large database.	Ophthalmology.	130(3)	256-264	2023
Yasaka Y, Hasegawa E, Keino H, Usui Y, Maruyama K, Yamamoto Y, Kaburaki T, Iwata D, Takeuchi M, Kusuhara S, Takase H, Nagata K, Yanai R, Kaneko Y, Iwahashi C, Fukushima A, Ohguro N, Sonoda KH.	A multicenter study of COVID-19 vaccine-associated ocular inflammation.	Jpn J Ophthalmol.	67(1)	14-21	2023
岳野光洋	小児ベーチェット病 vs 成人ベーチェット病 特集 (Clinical Science) 免疫難病における小児から成人へのtransitionの課題と対策	炎症と免疫	28(1)	56-61	2020
岳野光洋	ベーチェット病診療ガイドライン2020(解説)	リウマチ科	63(6)	698-705	2020
岳野光洋	ベーチェット病における適応免疫と治療への展望	リウマチ科	64(5)	567-572	2020

廣畑俊成	免疫性神経疾患update IV. 特論 神経Behcet病-ガイドラインをふまえて.	日本臨床	78(11)	1931-8	2020
内海卓也, 丸山勝彦, 小竹 修, 禰津直也, 水井理恵子, 後藤 浩	ぶどう膜炎続発緑内障に対するナイロン糸による線維柱帯切開術(眼内法)の成績	あたらしい眼科	37	999-1002	2020
水井理恵子, 丸山勝彦, 内海卓也, 禰津直也, 小竹 修, 後藤 浩	ぶどう膜炎続発緑内障に対する線維柱帯切除術後の二期的白内障手術が眼圧調整に及ぼす影響	あたらしい眼科	37	738-741	2020
松島亮介, 白井嘉彦, 清水広之, 坪田欣也, 後藤 浩	眼サルコイドーシスにおける採血データを用いた階層型クラスター解析	臨眼	74	445-450	2020
小坂峻平, 中野和久, 宮崎佑介, 中山田真吾, 岩田慈, 河邊明男, 吉成紘子, 田中良哉	家族生地中海熱 (FMF) 非典型例としてのカナキムマブ治療中にベーチェット病の症状が顕性化しアダリムマブが奏功した一例	九州リウマチ	40	105-110	2020
菊地弘敏	Behcet病ーベーチェット病診療ガイドライン2020を踏まえー	脳神経内科	93	624-631	2020
菊地弘敏	神経ベーチェット病の新知見	臨床免疫・アレルギー科	74	373-380	2020
菊地弘敏	【最近のトピックス2020 Clinical Dermatology 2020】皮膚疾患治療のポイント Behcet病の口腔内アフタ性潰瘍とアプレミラスト	臨床皮膚科	74	103-107	2020
堀田信之, 水木信久	日本におけるベーチェット病疫学に関する新知見	臨床の歩み	109	5-6	2020
竹内正樹, 水木信久:	ベーチェット病の成因研究最前線	Pharma Medica	38	61-66	2020

蕪城俊克	第 123 回日本眼科学会総会 評議員会指名講演 II 難治性 眼疾患への挑戦. 眼内炎症	日眼会誌	124(3)	220-246	
関沙織, 田中理恵, 蕪城俊克, 小前恵 子, 中原久恵, 伊沢 英知, 白濱 新多朗, 曾我 拓嗣, 高本 光 子, 相原 一	炎症性腸疾患に伴う眼炎症 をきたした 12 例の検討.	臨床眼科	74(5)	589-594	
蕪城俊克	治療法の再整理とアップデー トのために専門家による 私の治療 ベーチェット病.	日本医事新報	5040	38	2020
蕪城俊克	眼科鑑別診断の勘どころ. ぶどう膜炎で硝子体混濁を きたすもの.	OCULISTA	84	136-140	2020
蕪城俊克	眼科イメージング 2020Q&A】 網膜・硝子体 ぶどう膜炎 Behcet 病のイメージングに よる診断法について教えて ください.	あたらしい眼 科	37臨増	185-189	2020
蕪城俊克	【新時代を切り拓く自己免 疫疾患治療～平成から令和 へ～】眼科領域 非感染性ぶ どう膜炎の治療戦略.	クリニシアン	67(11-12)	1141-1145	2020
南場 研一	ぶどう膜炎における生物学 的製剤治療. 眼科医の手引 き.	日本の眼科	91	188-189,	2020
平原理紗, 桐野洋平	腸管型ベーチェット病	全国膠原病友 の会			2020
桐野洋平	ベーチェット病	診断と治療社			2020
平原理紗, 桐野洋平	ベーチェット病の診断・疾患 活動性におけるバイオマー カー	科学評論社		45-52	2020

平原理紗, 桐野洋平	ベーチェット病における IL-23/IL-17 とその阻害薬.	科学評論社		655-660	2020
平原理紗, 桐野洋平	ベーチェット病に対する PDE4 阻害薬アプレミラスト	科学評論社		665-671	2020
東野俊洋	ベーチェット病の関節病変	日本臨床	79	印刷中	2021
岳野光洋	血管病変. 特集: ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見.	日本臨床	79 (6)	884-889	2021
廣畑俊成	ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見- カラー図説 ベーチェット病の病理.	日本臨床	79(6)	792-9	2021
中村晃一郎	ベーチェット病の皮膚症状と精神症状	精神科	38	174-178	2021
坪田欣也, 後藤 浩	ぶどう膜網膜炎のイメージング 検査 OCT angiography.	眼科	63	525-530	2021
田中良哉	ベーチェット病治療における生物学的製剤: 現況と将来展望.	日本臨床	79(6)	904-911	2021
黒澤美智子	:特集: ベーチェット病 I. 総論 わが国のベーチェット病の疫学像の変遷.	日本臨床	79(6)	813-818	2021
山口賢一	小児Behçet病	日本臨床	79巻	890-896	2021
久松理一	テーマ: III .診断と治療 6. 腸管病変	日本臨床 「ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見」	79(6)	878-883	2021

久松理一	腸管ベーチェット病の診断と治療	消化器内科 広義の炎症性腸疾患 (IBD) —重要疾患の最新知見と罹患部位による鑑別診断—	3(9)	36-42	2021
脇谷理沙,土橋浩章	ベーチェット病の新規治療薬apremilast	日本臨床	79(6)	912-916	2021
蕪城俊克	ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見. 診断と治療. 眼病変の臨床像と診断	日本臨床	79(6)	850-856	2021
岩田大樹,南場研一	眼病変の治療. 特集: ベーチェット病.	日本臨床.	79(6)	857-861	2021
南場研一,大野重昭	ベーチェット病眼病変診療ガイドラインについて. 特集: 眼科診療ガイドラインの活用法.	OCULISTA	96	101-106	2021
南場研一	私の治療; 虹彩毛様体炎	週刊日本医事新報	5049	38-39	2021
石ヶ坪良明,安倍清美,岳野光洋,竹内正樹,水木信久	【ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見-】厚生労働省ベーチェット病研究班ホームページからの患者相談の実態.	日本臨床	79(6)	925-930	2021
竹内正樹,水木信久	もう悩まない ぶどう膜炎の診断と治療-達人の診療プロセスを教えます	臨床眼科	75(1)	37-41	2021
竹内正樹,水木信久	【ベーチェット病-基礎と臨床の最新知見-】ベーチェット病臨床研究の流れ ガイドライン策定からレジストリ研究へ	日本臨床	79(6)	800-804	2021
竹内正樹,岳野光洋,水木信久	ガイドライン ココだけおさえる ベーチェット病診療ガイドライン2020	日本医事新報	5071	28-32	2021
長沼誠	【内科疾患の診断基準・病型分類・重症度】(第2章)消化器 炎症性腸疾患	内科	127(4)	566-568	2021
中村晃一郎	急性外陰潰瘍・ベーチェット病の外陰病変	産科と婦人科	89	54-58	2022

福井寿朗,長沼誠	ステロイド治療	日本臨床	80(3)	439-443	2022
桐野洋平	難治性免疫疾患—病態解明と新規治療戦略 ベーチェット病	医学のあゆみ	277(9)	766-770	2021
副島裕太郎, 桐野洋平	ベーチェット病の亜型分類	日本臨床	79(6)	806-812	2021
副島裕太郎, 桐野洋平	特殊型ベーチェット病	リウマチ科	66(5)	1-9	2021
山口賢一	若年性強皮症	小児内科	53	907-912	2021
廣畑俊成	VIII. 内科疾患や腫瘍に伴う神経免疫疾患 神経ベーチェット病/神経スウィート病.	日本臨床	80(Suppl.5)	494-498	2022
廣畑俊成	[専門医のためのアレルギー学講座]-膠原病とアレルギー-2. 関節リウマチを除く膠原病の診断と治療	アレルギー	71(3)	168-180	2022
中村晃一郎	急性外陰潰瘍・ベーチェット病の外陰病変	産科と婦人科	89	54-58	2022
中村晃一郎	結節性紅斑様皮疹を見極める	Monthly Book Derma	320 (4月増刊)	59-65	2022
竹内正樹、水木信久	ベーチェット病診療ガイドラインの要点	日本の眼科	93	1434-1435	2022
蕪城俊克	基本から学ぶ!ぶどう膜炎診療のポイント ぶどう膜炎に対するステロイド内服治療	OCULISTA	111	37-42	2022
蕪城俊克	非感染性ぶどう膜炎でTNF阻害薬を使えばステロイド内服をやめられますか?	臨床眼科	76(11)	142-145,	2022
蕪城俊克	治療法の再整理とアップデートのために 専門家による私の治療 ぶどう膜炎.	日本医事新報	5121	:47-48	2022
鈴木佳代、南場研一	サルコイドーシスとBehcet病. 特集指定難病と医療費助成.	あたらしい眼科	39	1589-1593	2022

鈴木佳代、南場研一	非感染性ぶどう膜炎に対するTNF阻害薬使用指針および安全対策マニュアル(改訂第2版、2019年版). 眼疾患のガイドラインと診療指針-解説とアップデート.	眼科 臨時増刊号	64	1295-1298	2022
南場研一	ぶどう膜炎続発緑内障. VI緑内障. 眼科薬物療法リファレンス.	新篇眼科プラクティス		138	2022
南場研一	硝子体混濁.	所見から考えるぶどう膜炎第2版		90-95	2022
桐野洋平	ベーチェット病	私の治療第4版			2022
永田健児、蕪城俊克、高瀬 博、金子 優、原田陽介	手術相談室 小児ぶどう膜炎眼に対する白内障手術	眼科手術	36(1)	149-154	2023